

ニーズとシーズ マッチング探る

坂野教授「新たなビジネスチャンス」

インフラメンテナン
ス 国会議近畿本部

インフラメンテナン
ス 国会議近畿本部フォー
ラムが10月24日、大阪市
内で開かれた。

フォーラムリーダーの



橋本部長

片岡信之氏(国土政策研
究会)が「施設管理者の
インフラ維持管理の課題
(ニーズ)と、それを解
決する企業の技術や発想
(シーズ)をマッチング
する5回目のピッチイベ
ントだ」と挨拶。国土交
通省近畿地方整備局の橋
本雅道・企画部長は「自



坂野教授

治体は財政が厳しく、人
も足りない現状をカバー
するのが技術」と述べた。

テーマ①は大阪府の
「路面性状調査」。約1
億円/年かかり、新技術
と現行調査との整合性の
検証が必要とする。求め
るのは、舗装のひび割れ

・平坦性などが計測・評
価できる技術、効率的で
安価な過年度のMCI(舗
装の維持管理指標)を活
用できること。
シーズ技術として、内



片岡リーダー

また、ニチレキは「効
率的な修繕に向けた舗装
点検」を紹介。調査費を
縮減し、土木研究センタ
ーの性能確認試験に合格
したと述べた。

西日本高速道路エンジ
ニアリング中国は「道路
状態の確認・寸法計測技
術など。

シーズ技術は、内外構
造が「狭あい部の近接目
視を支援するカメラ技

外構造が「ドクターパ
トによる路面性状調査技
術」を提案。カメラによ
る連続測定で、ひび割れ
幅1mm以上を認識可能、
コスト縮減に有効と発表
した。

課題は、近接目視でき
ず内部の状態を完全には
把握できていない、内部
では水の浸入により鋼桁
の腐食などが懸念され
る、パネル撤去には多大
な費用がかかる—など。

課題は、吊橋へのアク
シズ方法がなく、設計荷
重が不明で単管足場の設
置は危険なこと。求める
のは、素地調整技術、長
寿命化塗装、点検作業の
移動吊足場工法、健全度
診断技術。条件は、軽量
で移動可能な作業足場、
そこでの施工が可能な素
地調整と塗装、地元業者
でも容易に設置・施工で
きる—など。

テーマ②は、大阪府河
内長野市の「歩道橋にお
ける化粧パネル裏の点検
技術」。

課題は、近接目視でき
ず内部の状態を完全には
把握できていない、内部
では水の浸入により鋼桁
の腐食などが懸念され
る、パネル撤去には多大
な費用がかかる—など。

課題は、吊橋へのアク
シズ方法がなく、設計荷
重が不明で単管足場の設
置は危険なこと。求める
のは、素地調整技術、長
寿命化塗装、点検作業の
移動吊足場工法、健全度
診断技術。条件は、軽量
で移動可能な作業足場、
そこでの施工が可能な素
地調整と塗装、地元業者
でも容易に設置・施工で
きる—など。

シース技術は、阿南電
機の高耐久性防食防水
テープ(微結晶石油系ワ
ックス不織布)。複雑
な形状にもパテなしで容
易に成形貼付でき、防食
性能が30年以上持続する
と説明。吊橋ケーブルの
長寿命化施工例では、約
4万円/m(材料)、作
業スペースは作業員1
2人程度の床で可能だ。
また、フルサト工業の
レーザーレン技術は、
除去対象物を母材表面か
らはく離する。下地への
熱の影響はなく、素地調

整の度合いや面積を自由
に変えられる。粉じん・
廃棄物処理にコストがか
からず、作業者の負担も
軽いと報告された。
これらを受け、情報ワ
ーキング長の坂野昌弘・
関西大学教授が「いずれ
実証実験に持っていきた
い。施設管理者のニーズ
は無限で、それが仕事に
結びつく。新たなビジネ
スチャンスだ。町や村の
雇用、地域活性化にもつ
ながる」と話した。

シース技術は、阿南電
機の高耐久性防食防水
テープ(微結晶石油系ワ
ックス不織布)。複雑
な形状にもパテなしで容
易に成形貼付でき、防食
性能が30年以上持続する
と説明。吊橋ケーブルの
長寿命化施工例では、約
4万円/m(材料)、作
業スペースは作業員1
2人程度の床で可能だ。
また、フルサト工業の
レーザーレン技術は、
除去対象物を母材表面か
らはく離する。下地への
熱の影響はなく、素地調

シース技術は、阿南電
機の高耐久性防食防水
テープ(微結晶石油系ワ
ックス不織布)。複雑
な形状にもパテなしで容
易に成形貼付でき、防食
性能が30年以上持続する
と説明。吊橋ケーブルの
長寿命化施工例では、約
4万円/m(材料)、作
業スペースは作業員1
2人程度の床で可能だ。
また、フルサト工業の
レーザーレン技術は、
除去対象物を母材表面か
らはく離する。下地への
熱の影響はなく、素地調

シース技術は、阿南電
機の高耐久性防食防水
テープ(微結晶石油系ワ
ックス不織布)。複雑
な形状にもパテなしで容
易に成形貼付でき、防食
性能が30年以上持続する
と説明。吊橋ケーブルの
長寿命化施工例では、約
4万円/m(材料)、作
業スペースは作業員1
2人程度の床で可能だ。
また、フルサト工業の
レーザーレン技術は、
除去対象物を母材表面か
らはく離する。下地への
熱の影響はなく、素地調